

# あなたに真向かってほしい

まむ

朝鮮学校の若きアーティスト達

## GAKUBI 選抜展 - Part II

2/1(土)~4/27(日)

前期:2/1(土)~3/16(日)  
後期:3/19(水)~4/27(日)

### GAKUBI(=学美)とは?

在日朝鮮学生美術展覧会（GAKUBIと略）は日本全国にあるウリハッキョ（朝鮮学校）に通う在日朝鮮人3、4世の児童、生徒たちの作品発表の場として毎年行われています。ウリハッキョの図工美術教育は、単に表現技法や描写力を育てるものではなく、美術を通して子どもたちの心の成長を促す場であると考えられています。そこから生まれた作品を公開するこの美術展では「心象リアリズム」がより強く表現された作品、決して上手く描くことがすべてではなく、言いたいことや表したいことが粹からはみ出るのも気にせず、元気良く表現することを“よし”としています。

(ホームページより)

### GAKUBI深堀りトーク(対談)

3/22(土) 14:00~16:00

GAKUBIの魅力、朝鮮学校の美術教育などについて語り合います



チェンソギョ  
崔誠圭さん



岡本同世さん

東京朝鮮中高級学校美術教員  
在日朝鮮学生美術展中央審査委員  
熱いハートで生徒を温かく見守る

GAKUBI鑑賞者。会場でよく見かける。イラストは、2021年に当時の美術部員が描いてくれた

会場：高麗博物館展示室

参加費：一般/1000円、30歳未満、障がい者/600円  
中学生以下/無料

参加申込：E-mail, Tel, Faxからも可



### アーティストトーク(後期)

4/20(日) 14:00~15:00



2022年春、GAKUBI選抜展のアーティストトーク風景  
生徒が自分の作品のコンセプトや制作裏話について語っている様子

パネル展示「朝鮮学校ってなに？」  
同時開催中

17 特報 11版 2025年(令和7年)2月9日(日曜日)

**本音のコラム**

4日、立憲民主党国会議員有志による「朝鮮学校に対する公的助成の実現を目指す勉強会」が開かれ、23人の議員と約10人の秘書が集まった。僕は講師として招かれ、民族教育は在日コリアンの子どもの権利である、国の教育無償化・修学支援からの排除や自治体の補助金停止は「官製ヘイトだ」という話をした。民主劣権による高校無償化の実施から15年、自公政権が設けた所得制限の撤廃や私学生徒への増額が自公間で協議されているが、朝鮮高校生は依然として置き去りにされたまま、その苦しみは今なお続いている。同じ日、僕は東京都新宿区の高麗博物館で、在日朝鮮学生美術展選抜展（GAKUBI）の選抜展を見させてもらった。画面いっぱいには「テマリカタブバ」が描かれた絵。「復活草」とも呼ばれるこの植物に、作者は関東大震災で虐殺の犠牲になった人々の心も復活してほしいという思いを込めたという。「とても強い人」と題された立体作品は、血にまみれた角を何本も突き出した人間の頭部だ。添えられた作者の言葉に「誰にも苦しみを理解されない」とあった。前期の展示は3月16日まで、後期は展示を入れ替えて4月27日まで開催。開館時間は正午～午後5時で、月・火は休館。出展した生徒や美術教師・崔誠圭氏によるトークも開催予定だ。(現代教育行政研究会代表)

2025.2.9

2025年2月9日東京新聞朝刊 前川喜平さんの「本音のコラム」

市民がつくる日本コリア交流の歴史博物館



高麗博物館

고려박물관 KOREA MUSEUM

169-0072 東京都新宿区大久保1-12-1  
第2韓国広場ビル7F

Tel 03-5272-3510 Fax 03-3207-0533

E-mail: kh@kouraihakubutsukan.org

http://kouraihakubutsukan.org

開館時間：12:00~17:00 休館日：月・火曜日

入館料：一般 500円、高校・大学生・30歳未満200円 中学生以下 無料